

「中小企業リスクセミナー」を開催

～ 事業継続力強化計画、サイバー犯罪等の基本を学びリスクに備えることを呼びかけ ～

日本損害保険協会四国支部（委員長：高橋 淳・東京海上日動火災保険株式会社 理事高松支店長）は、1月29日（水）、高松商工会議所において、四国4県の中小企業の関係等を対象にした「中小企業リスクセミナー」を開催しました。当日は、約90名（会場参加約20名、オンライン参加約70名）が参加しました。

高橋委員長から「中小企業を取り巻くリスクは自然災害やサイバー攻撃、感染症などの事故・災害リスク、法令違反、情報漏えい、オペレーションリスクなど様々である。損保協会が実施したアンケートでは、実際に被害に遭った中小企業の約半数がリスクへの備えが不足していたと回答しているため、本セミナーを通じてリスクに備えてほしい」と開会挨拶がありました。

まず、香川県警察・サイバー対策犯罪課の課長補佐の松永氏から、「ランサムウェアで64%の中小企業が被害を受けている実態があること、対策では新たな手口を知って身（個人・企業）を守ることが重要であり、被害にあったら警察に相談・通報してほしい」等の解説がありました。

次に、四国経済産業局産業部産業振興課総括係の小原氏から、「事業継続力強化計画の認定事業者になると税金優遇・金融支援・補助金等の様々なメリットがある。また、申請書は作成するページ数も多くないため簡易なBCPとして積極的に取組んで様々なリスクに備えてほしい」等の解説がありました。

最後に、東京海上日動火災保険株式会社・高松支店・マーケット担当チームシニアアソシエイトの牟禮氏から、中小企業を取り巻く様々なリスクの中から「サイバーリスク」「自然災害リスク」等に備える対策として損害保険について解説がありました。

終わりに、四国経済産業局産業部産業振興課の渡部課長から、「近年、自然災害は頻発・激甚化している実態にあり、サイバー攻撃も増加傾向にある。中小企業は様々なリスクに備える必要があるため、本日のセミナーを通じて得た情報が中小企業のリスクに備えになることを祈念する」との閉会挨拶がありました。

参加者から、「とても参考になった。リスク、BCPについて知識を深めることができた」、「様々な視点でサイバーリスクを学べて良かった」、「また機会があれば参加したい」等の声が寄せられました。

四国支部では、引続き、関係機関等との連携を強化して、中小企業を取り巻くリスクに備える取組みを推進してまいります。

《セミナーの概要》

日時：2025年1月29日（水）15時～16時30分

場所：高松商工会議所5階501会議室

テーマ：第1部 「サイバー犯罪の現状と対策について」

松永 祐二 氏（香川県警察本部 生活安全部 サイバー犯罪対策課 課長補佐）

第2部 「事業継続力強化計画について」

小原 直大 氏（四国経済産業局 産業部 産業振興課 総括係）

第3部 「中小企業のリスクと対策について」

牟禮 あゆみ 氏（東京海上日動火災保険株式会社 高松支店 マーケット担当チームシニアアソシエイト）



開会挨拶：高橋四国支部委員長



第1部講演：松永課長補佐
香川県警察本部生活安全部
サイバー犯罪対策課



第2部講演：小原総括係
四国経済産業局産業部産業振興課



第3部講演：牟禮シニアアソシエイト
東京海上日動火災保険株式会社
高松支店マーケット担当チーム



閉会挨拶：四国経済産業局産業部
渡部産業振興課長



会場の様子